



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.154



12月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2025年12月2日

## セミナーを通じた会員相互の交流醸成

副会長 大草徹也

今年から副会長を拝命しました。どうぞよろしくお願ひします。私が当協会に入会したのは2003年ですから、当時、設計監理を担当していた東京駅前の丸の内オアゾの工事の真ただ中でほぼ現場に常駐していた頃でした。私の専門は建築設計ですが、興味のあるインテリアの世界にも触れたいということでインテリア分科会での活動を開始して20年以上の月日が経ちました。

当協会のホームページを改めて見直してみると、浅野会長から「私たちは、ホテル・旅館の計画・建設など観光に関わる技術分野の企業や専門家の集団です。観光施設及びそれを取りまく都市・自然環境などの観光交流空間の調査・研究を行い、その魅力を高めることにより、国際観光振興と地域社会の発展に貢献しています。」という明確な協会の位置づけと使命が語られています。

当協会には技術分野の企業や専門家が多く集まっており、その特徴を最大限にいかし、会員の皆さんが交流し、そこからまた新しい価値が生まれてくるような企画を今後も続けていきたいと思ひます。

その試みの一つとして、2022年11月に開催した70周年記念講演会「日本を伝える・都市と建築を語る」では、大手設計事務所の3社長（梓設計有吉匡氏、日建設計大松敦氏、日本設計篠崎淳氏）にパネルディスカッションをお願ひし、その後の懇親会も含め大盛況でした。昨年は、10月にCSV中間報告会に合わせて久米設計藤澤進前社長のセミナーと鈴木前協会会長とのクロストークを企画しました。

今年、10月に開催したCSV中間報告会に竹中工務店常務の原田哲夫氏をお招きして「パークハイアット京都・山荘京大和」の興味深いお話を聞くことができ、また同月には、設備部会交流会において組織設計事務所（山下設計、久米設計、日建設計、日本設計）の設備設計の責任者を招いてのパネルディスカッションが行われ、多くの会員の皆様に参加頂き講師の方々との交流を深めることができました。

このようなセミナーを通じた講師と会員、会員相互の交流を醸成していくことは、当協会に参加する意義や魅力の向上にもつながり、また、その交流から生まれる新しいアイデアや社会に対する様々な視座を受けてそれを協会の活動に反映していくなど、多くの成果が期待できます。今後は、組織設計事務所やゼネコン設計部といった枠を超えてアトリエ建築家やインテリアデザイナー、さらにはそれを超えた分野での人選も含め多様な講師をセミナーにお招きし、協会の活性化に寄与していきたいと考えていますのでどうぞご期待ください。

来年は午年です。躍動感、力強さ、前進などを象徴する年とのこと。当協会もさらなる発展の年とすべく、各部会、委員会、イベントでの活動、交流を活性化し、国際観光振興と地域社会の発展に少しでも貢献できることを祈念して協会活動にのぞんでまいりたいと思ひますので、会員の皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひ致します。

# 第54回 2026年国際ホテル・レストラン・ショー

## ホテルズ実行委員会 委員長 末森憲義

第54回 国際ホテル・レストラン・ショーは、令和8年2月17日（火）～20日（金）、東京ビッグサイト・西展示棟にて開催されます。今回のHCJ（ホテルズを含む3展合同展示会の総称）のブース出展募集では、締め切りの9月末を過ぎても申し込みや問い合わせが続く盛況ぶりで、想定を大きく上回る出展者数が見込まれています。協会ブースの総合テーマは、「ホスピタリティのくに 日本を伝える」です。前回に続き、我々の研究成果を丁寧に、的確に伝えることの重要性に焦点をあてたものです。

今年は従来の研究成果を発表する8つの展示ブースに加えて、能登半島災害復興支援の展示と観光DXに焦点を当てた展示を行います。Noto roomと題したコンセプトルーム展示は、能登ヒバをはじめ能登上布や二行和紙といった能登の伝統的マテリアルを用いたホテル客室をインテリアチームにてデザインしています。DX展示はロボットの実機実演を始めとした最先端の技術紹介を予定しています。

また、協会ブースとホスピタリティデザインセミナーとその会場の壁面を飾るホテル・旅館・観光施設ライブラリーを合わせた3つを一体的に運営し、相乗効果でこれまでも増して賑やかな協会ブースにする予定です。また2月17日（火）にはサロン（会員間の交流の場）を開催致します。ワインとおつまみを提供しますので、フランクに交流できる絶好のチャンス、お誘いあわせの上是非ご参加ください。最後に、協会ブースへの参加申込みのお願いです。お済みでない方は、期限は既に過ぎてはおりますが、未だ受け付けておりますので、全員参加の協会CSV活動の主旨をご理解いただき、是非、お申し込みください。

### ホテル都市分科会 木づかい系セミナーと見学会開催

#### ホテル都市分科会 分科会長 野出木貴夫

ホテル都市分科会では昨年度より「木づかい活動」の一環で木造・木質系のセミナー1題と見学会3件を開催しています。毎月開かれる分科会は平均15～16名が参加し積極的な活動がおこなわれていますが、WEB参加が多いこと、また新規参加の委員も多いこともあり、交流・親睦を深める意味も兼ね、外部イベントとして定期的に企画しています。

今年度は7月24日に清水建設設計・施工の「第一生命京橋キノテラス」を見学しました。建物は鉄骨工の技量を木構造に活かすべく鉄骨と木造・木質化のバランスの取れたハイブリッド構造が特徴でした。

続いて10月2日には三菱地所設計が設計を手掛けた「Caption by HYATT 兜町 東京」を企画しました。中高層ホテル建築では例の少ない木造ハイブリッド構造を採用しており、室内の製材型枠や低層部外装の焼杉など内外随所の木質化にチャレンジしていました。

今年度最後の見学会は11月20日にマイクロバスをチャーターして住友林業が設計・施工担当された「みどりの社宅と住友林業筑波研究所」を見学しました。みどりの社宅はRC造と木構造を縦断面で混構造とした6層の集合住宅で、研究所はポストテンション構法を採用しています。

一方セミナーは木造・木質系建築の設計を多く手掛けておられる「日建設計のNikken Wood Lab」を本社2階の共創プラットフォーム：PYNTに尋ね、メンバー8名よりリレー講演をしていただきました。約50名の参加があり、懇親会も大いに盛り上がり、充実した講演会となりました。

当分科会の企画する見学会・セミナーは施設規模から当分科会委員限定となる例が多いですが、条件

が許せば、広く正会員の皆様にご案内できるイベントとして今後は企画していきたいと思っております。どうぞご期待ください。

### 「CSV 中間報告会&セミナー」の報告

#### 建築部会 藤島二郎

去る2025年10月30日都内大手町の”3×3 Lab Future”において、80名超の参加者により「CSV 中間報告会&セミナー」を開催致しました。浅野会長による開会の挨拶の後、10の各分科会・委員会より活動報告が行われました。各活動とも独自の課題解決型視点による昨年以上の熱のこもった報告となりました。

休憩の後 セミナーとして、株式会社 竹中工務店 常務執行役員 原田哲夫氏により「竹中工務店におけるホスピタリティデザインー京都東山計画（パークハイアット京都・山荘京大和）の実践を通じてー」と題して京都の歴史的建造物である「京大和」の敷地に「パークハイアット 京都」として再生したプロジェクトに関するご講演を頂きました。

このプロジェクトは、料亭の維持と観光立国という国家戦略の中で、ハイアット社と竹中工務店が連携し、文化的・歴史的な景観を未来へ繋ぐために始動し、建物の歴史的な保存・活用と、地域社会との共存を重視し、伝統的な意匠を現代的なデザインに調和させながら、豪華で希少性のあるホテルを実現。

原田氏の格調高いプレゼン力により、「竹中工務店の高い技術力と粘り強い行政との協議により、複雑な景観規制や耐震性の問題をクリアし、成功に導かれたプロジェクト」として参加者の心に残るセミナーとなりました。



## 設備部会の活動状況とこれからの予定

### 設備部会長 藤野健治

2025 年度設備部会交流会を 10 月 15 日に(株)三菱地所設計のスタジオにて開催致しました。

第 1 部の講演会は、例年の講演会形式ではなく“「建築設備の魅力と未来」-カーボンニュートラル・その先へ-”と題し、業界をリードする設計事務所の技術者によるパネルディスカッション形式で行いました。パネリストの生立ち含めたプライベートな話から始まり、社会人としての経験談、今後の設備業界の展望等を含め貴重なお話を伺うことができました。

講演会終了後には第 2 部として同会場にてケータリングによる料理とお酒を囲みながら、参加者約 130 名にて和やかな雰囲気の中で懇親会が開催され参加者同士の交流を深めることができました。

現在は、本年度 2 回目の見学会の実施に向けた打合せを進めています。活動状況については、今後も掲載等を利用して皆様に発信して行きたいと思っております。

## インテリア部会の活動状況と

### これからの予定

#### インテリア部会 部会長 寺本昌志

令和 7 年度前半のインテリア部会の活動については宿泊施設見学グループが 6 月 18 日に「YOTEL 東京銀座」の見学会を行いました。60 名を超える参加者で、ホテル側よりブランドや営業戦略のお話と共に、ホテルデザインのコンセプトについてもお話頂きました。

また新情報発信グループでは 7 月 8 日に『時とともに味わいを増す、著名クリエイター達を刺激する伊達冠石とは！』というテーマで、大蔵山スタジオの山田代表から石の魅力についてお話して頂きました。その他の 2 グループについても現在、見学会・セミナー開催の準備を進めております。

また今年度はここ数年コロナ禍で開催できなかった部会全体の交流会を 10 月 23 日に 6 年ぶりに開催する事が出来ました。開催に向けては、会員の皆様に部会本来の目的である「会員の交流」について理解頂けるよう委員会を設け準備を進めました。その中で、タイトルについては『大交流会インテリア業界の大交流・新たなつながりを築こう！』とし会の目的をシンプルに伝える事や参加者に大きな名札を配布する等、交流の活性化に向けて工夫を図りました。メンバーの努力もあり、当日の参加者は 120 名を超え盛会となりました。

これからも活動の中で会員同士が良い交流を持ち、互いのビジネスに繋がって頂けるよう、その機会を設けていきたいと思っておりますので、今後共、どうぞ宜しくお願い致します。

## ☆新入会員紹介☆ (申込順)

[正会員/製造業・販売業及び施工業]

### 株式会社エーアンドエーマテリアル

(代表者) 建材事業推進部 部長 丸山 諭

(担当者) 建材事業推進部 部長

BEoNA 販売推進グループリーダー 井口和彦

〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70

品川シーズンテラス 27F

TEL03-3458-9370 FAX03-3458-9362

営業内容: 不燃建築材料の製造・販売

[正会員/団体]

### 一般社団法人宿泊施設関連協会

(代表者) 会長 本保芳明

(担当者) 事務局長 手塚秀行

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-5

全国旅館会館 2 階

TEL03-6261-0870

営業内容: 宿泊施設の発展と業界課題の解決支援

## 第 119 回 HOP 会結果と次回予告

### HOP 会 会長代行 杉浦 司

秋のゴルフ会が 11 月 18 日(火)に「狭山ゴルフクラブ」にて開催されました。当日は絶好の天気にも恵まれ、8 組で競技が行われました。

難コースに苦戦しながらも、大激戦を制したのは、総合デザインの横田様でした。

参加企業の皆様からの協賛のお陰で、表彰パーティも大変盛り上がり、楽しい親睦の場となりました。

次回は違うゴルフ場にて計画する予定です。多数の参加をお待ちしています。

## 編集後記

2025 年もあっという間に師走となり、「今年は何ができたのか、来年はどうしようか？」この時期毎年感じる事です。先日ふと、前職の職場の上司が本人も思ってなかったであろうタイミングで他界したのを思い出しました。「またすぐ逢える」と思っていたのに、退職の挨拶以後会話をすることができませんでした。何気ないことでも、「逢いたい人に会いに行く」ことの大事さと一期一会の巡り合わせを繰り返し考えます。年末年始、毎年のご事ですけど、ご多忙なことと思います。各分野でご活躍の協会会員のみなさまの心と身体の健康をどうぞご自愛ください。

平野智子